

第三期岩崎式日本語用語(通観言の矢印は指向性を表す)

第三期岩崎式日本語用語(通観言の矢印は指向性を表す)				既存の宗教観との対応					
		燈助詞	通観言						
		男我燈	心描	抽化	抽出	←現在のヒトの身体の範囲→			
真格・阿頼耶格(真格連続体)	空格以前	無し	ウ	イ・オ↓	↓ア・エ	大自然に没入			
	空格	無し				←空我	大自然に没入	東洋的「真我」	仏教の「無我」「空」(般若心経、中観派)、唯識思想の「識」「識」の实在を一旦認めて「空」に引き戻す)、ウパニシャドの「梵我一如」、陽明学の「心即理」、日本のアニミズム・自然信仰
	空識間格	無し				空識間我	同上		
	識格	無し				識我	同上		
	識具間格	ン				識具間我	同上		
	具格	ンデ				具我	同上		
	具及間格	一デ				具及間我	同上		
	及格	デ				及我	同上		
	及希間格	デノ				及希間我	同上		
	希格	ンノ				希我	同上		
	希能間格	一ノ				希能間我	同上		
	能格	ノ				能我	同上		
	能意間格	ノガ				能意間我	同上		
	意格	ンガ				意我	同上		
意活間格	一ガ	意活間我	同上						
活格	ガ	活我	同上						
活主間格	ガ	活主間我	同上						
主格	ガ		常観言			西洋的「自我」	人類の特権的地位、キリスト教的自然観、自然に対する支配と征服、「他人」「他我」「個人」「個性」などの概念成立		
						超越真理・・・(人類・自我の特権性を保証) ↓ 人類・・・自我(個)「主格」→→他我(個)「対格」 ↓ 自然・・・動植物・物体(名詞の性別化による自然支配＝文法性)「対格」			
						岩崎純一 Copyright (C) http://www.iwasaki-j.sakura.ne.jp/			